



B 列用紙サイズ

びーれつようしさいず

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

B 列用紙サイズ

列番号	寸法 (mm)
B0	1030×1456
B1	728×1030
B2	515×728
B3	364×515
B4	257×364
B5	182×257
B6	128×182
B7	91×128
B8	64×91
B9	45×64
B10	32×45

短辺と長辺の比率 $1:\sqrt{2}$ (1:1.414...)

概要

B 列規格とは、短辺と長辺の比率が $1:\sqrt{2}$ で、面積が 1.5m^2 になる用紙を B0 判 (B 列全紙) とし、以下長辺で半分に切るごとに B1 判から B10 判まで定められた用紙の規格です。

日本の紙の寸法規格は 1929 (昭和 4) 年に JES (日本標準規格) によって定められました。この寸法規格は戦後、若干改訂されて JIS (日本工業規格) に引き継がれ、現在の「紙加工仕上寸法」になっています。

日本の紙の寸法規格 B 列は、江戸時代の公用紙、美濃紙の判型である美濃判に由来する日本独特のものです。このため役所で使用する用紙は、国際的に通用する A 判に統一される 1993 年まで、B 判用紙が用いられてきました。

印刷物を作る場合、仕上がり寸法の外側にトンボをつけて印刷する必要があります。そのため、B4 判の印刷物を作る場合は、ひとまわり大きい A3 判を用いることになります。

B0 判の印刷物を作る場合は、用紙にトンボのスペースを加えた B0 ノビを用います。

「ノビ」サイズはメーカーごとに異なります。